



下水道事業への ウォーターPPP導入検討に関する説明会 およびアンケートへの協力のお願い

交野市
Katano City

交野市 上下水道統合準備室 下水道課

本日の趣旨

昨年度のアンケートは、下水道のみに関するものでした。
今回、上下水道一体でのウォーターPPPを検討するにあたって、

- ・水道関係の皆さんにもウォーターPPPがどういうものか
を知っていただきたい
- ・水道も含め、また去年から時間がたった中で、改めてご意見
をいただきたい

1

ウォーターPPPの概要

2

交野市の現状と課題

3

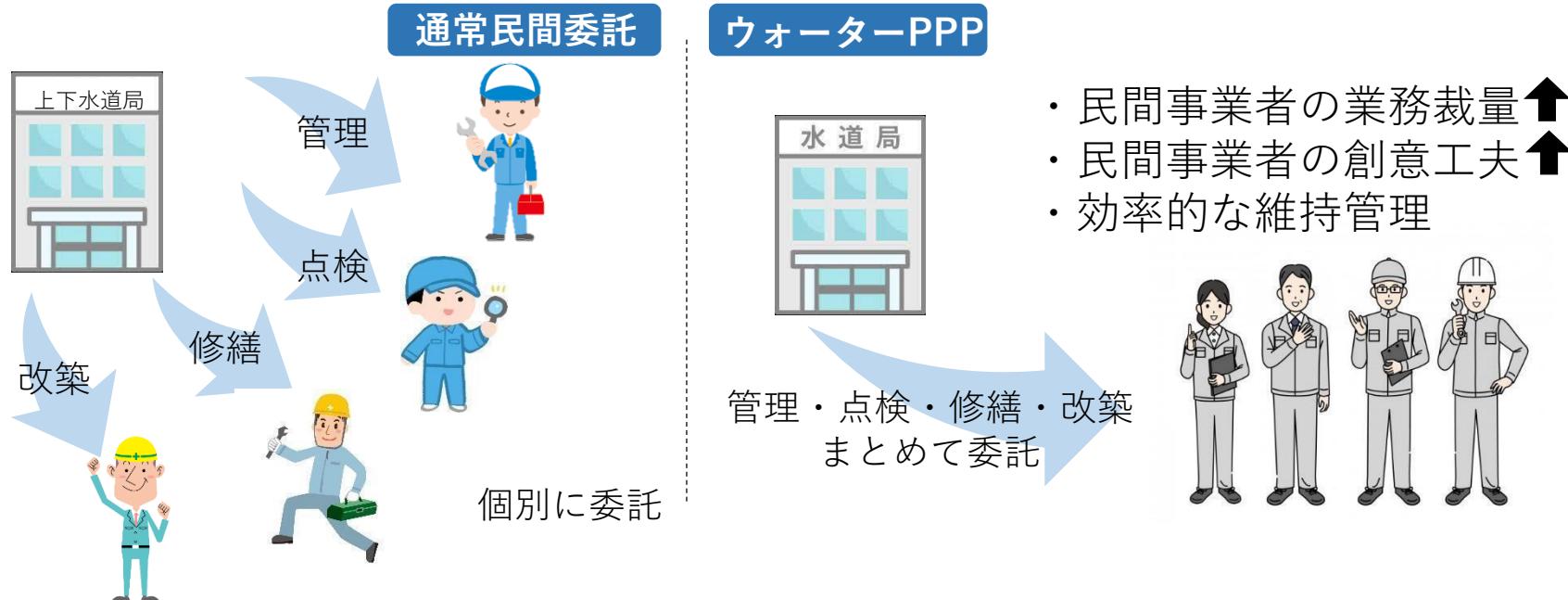
交野市のウォーターPPPの方向性

4

アンケート調査への協力のお願い

ウォーターPPPとは

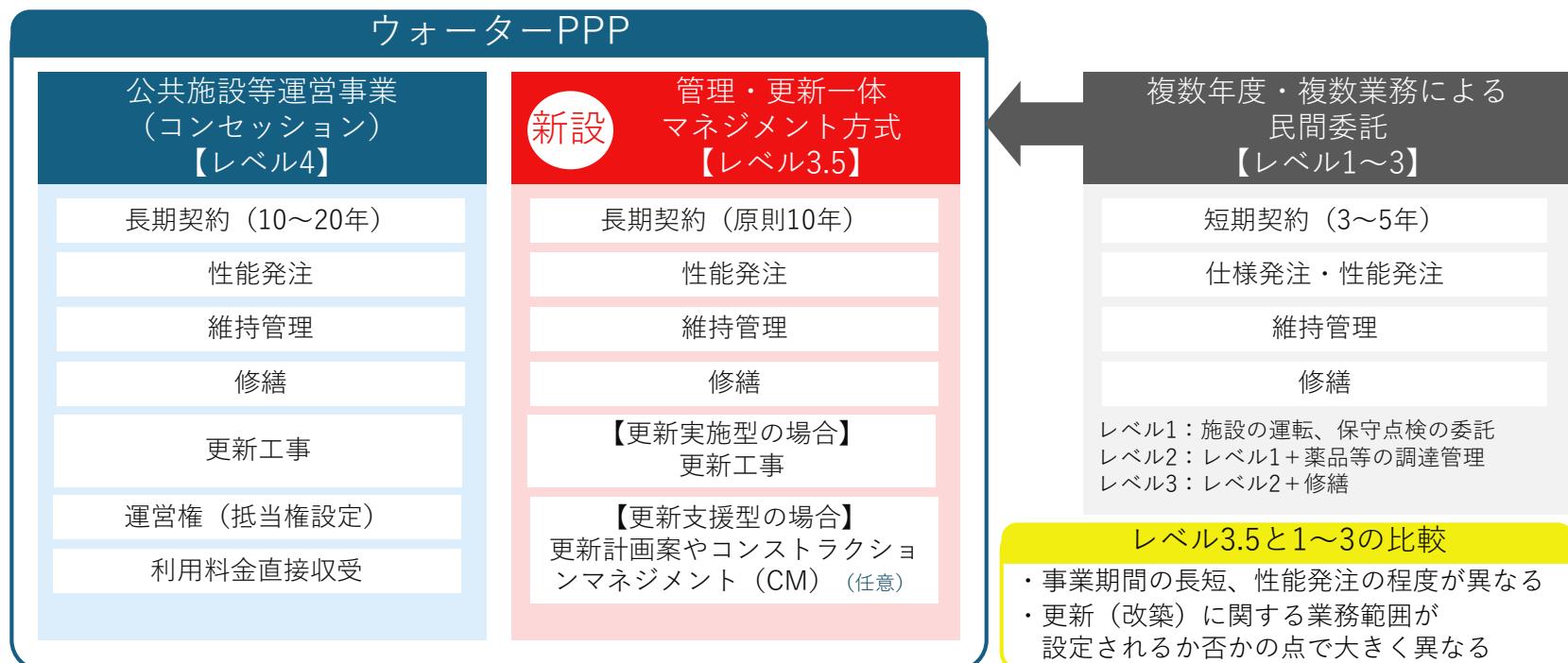
通常民間委託 : 官が主体となり公共サービスを提供（個別に業務を委託）
PPP : 官民が連携して公共サービスを提供
ウォーターPPP : 水道・下水道事業におけるPPPの新しい仕組み
(2023年6月に国が提示)



ウォーターPPPの概要

水道、工業用水道、下水道について、PPP/PFI推進アクションプラン期間の10年間（R4～R13）において、コンセッションに段階的に移行するための官民連携方式（管理・更新一体マネジメント方式）を公共施設等運営事業と併せて「ウォーターPPP」として導入拡大を図る。

内閣府「ウォーターPPPの概要」



ウォーターPPP導入の効果

ウォーターPPP導入により、地方公共団体・民間事業者に
以下のような効果があると言われている

地方公共団体の効果

- サービス水準の維持・向上
 - ・限られた執行体制及び予算で予防保全型維持管理への移行

- 民間ノウハウの活用
 - ・業務内容及び補修対応等の効率化、迅速化・適正化
 - ・技術提案等による技術力の向上

- 経営面の改善
 - ・**長期契約等による**経費及びコストの縮減

- 事務負担の軽減
 - ・複数年契約による契約、事務手続き等の軽減

民間事業者の効果

- 業務量及び雇用の安定確保
 - ・複数年契約により3～5年程度の見通しの明確化

- 業務量の平準化（ワークライフバランスの改善）
 - ・委託期間の拡大による業務の平準化

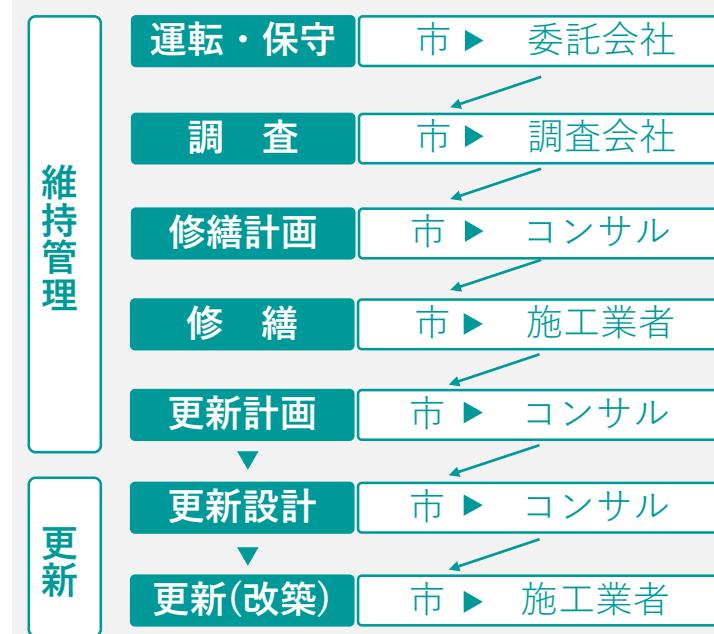
- 事務効率化
 - ・契約手続きに要する手間の軽減

- 自社技術の活用
 - ・各社の新技術等を活かした事業実施

- 収益改善
 - ・長期大口業務契約（消耗品・材料等）に伴うコスト削減

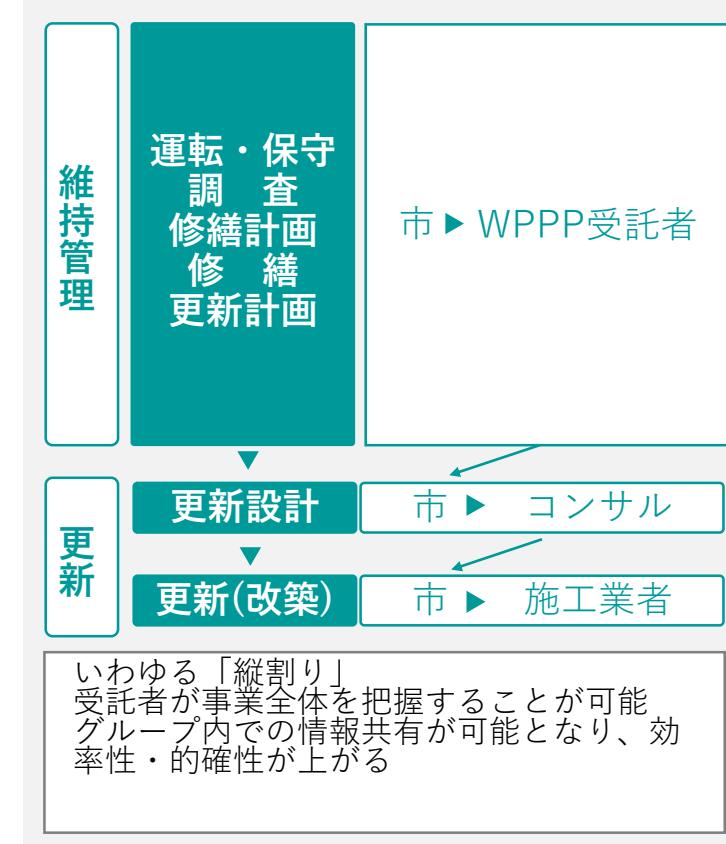
ウォーターPPPを踏まえた今後の維持管理—更新の流れ

従来の 維持管理 - 更新の流れ



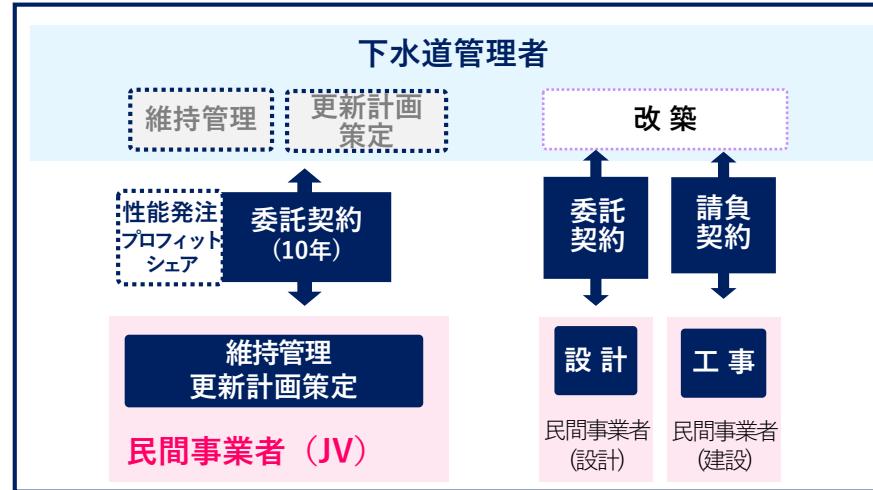
いわゆる「横割り」
全体像を把握できるのは市だけ
受注者はまた聞きのような形となり、情報共有・それに伴う的確性に課題がある
効率が悪い

今後の 維持管理 - 更新の流れ (更新支援型の例)



管理・更新一体マネジメント方式（レベル3.5）のスキーム

更新支援型



概要	維持管理と更新計画策定を一体的に受託者が実施する方式
主な対象業務	<ul style="list-style-type: none">■ 維持管理（包括的民間委託と同様）■ 更新計画策定
事業期間	10年間（原則。客観的理由あれば例外可）

本日の説明内容

1

ウォーターPPPの概要

2

交野市の現状と課題

3

交野市のウォーターPPPの方向性

4

アンケート調査への協力のお願い

現状（困ったこと）

- 60代以上の職員が多く、特に下水道課の**技術職の高齢化**が進行
- 今後の老朽化進行に伴う**業務の増大**には対応が難しくなっていく可能性が高い

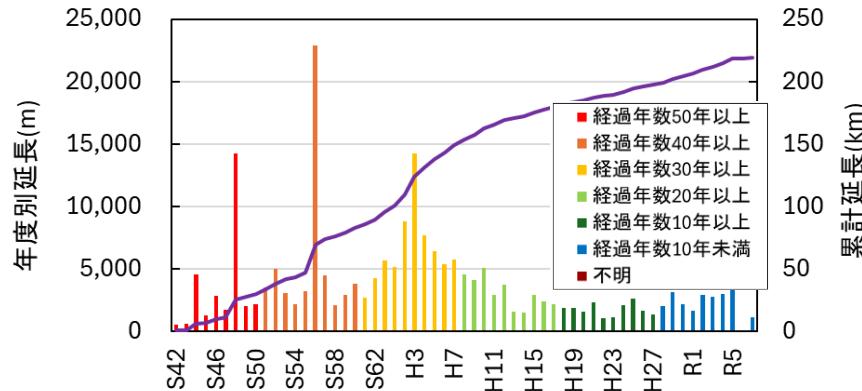


課題（なすべきこと）

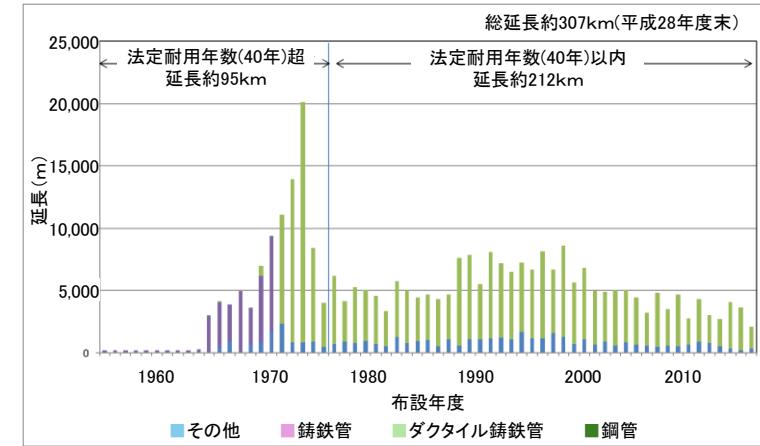
- 将来の**人手不足**への対応（体制補完）
- 人員が少ない中での**技術継承**（技術力維持）

交野市上下水道事業の現状と課題（モノ）

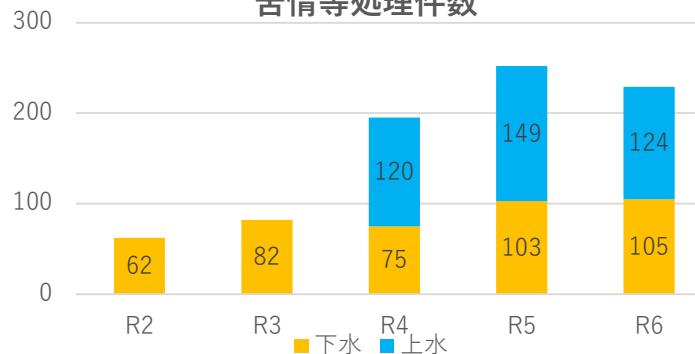
下水道管の布設延長



水道管の布設延長



苦情等処理件数



現状（困ったこと）

- 老朽化した管路施設が**急増**する見込み
- 下水の苦情は増加傾向、上水の苦情（漏水等）は高止まり、**今後さらに増加**すると考えられる

課題（なすべきこと）

- 効率的・的確な**維持管理・点検調査**
- 苦情等への**対応能力**の維持向上

交野市上下水道事業の現状と課題（力ネ）

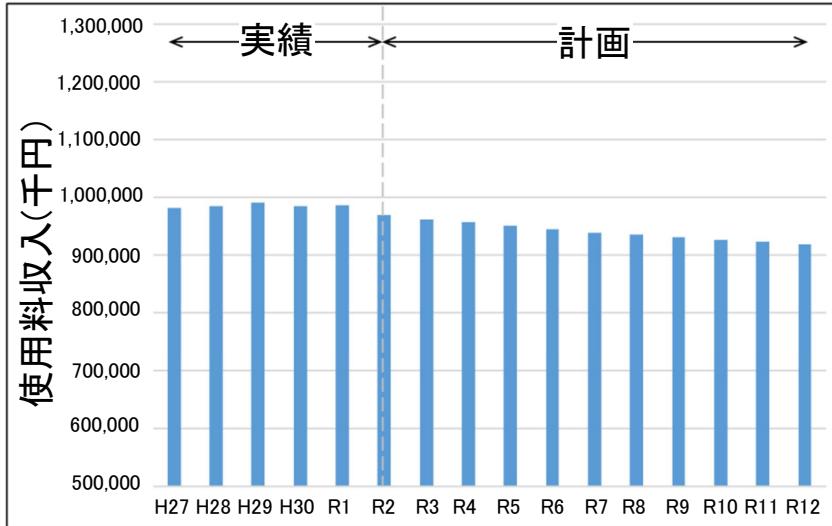
現状（困ったこと）

- 下水道、上水道共に今後の**収入は減少傾向**

課題（なすべきこと）

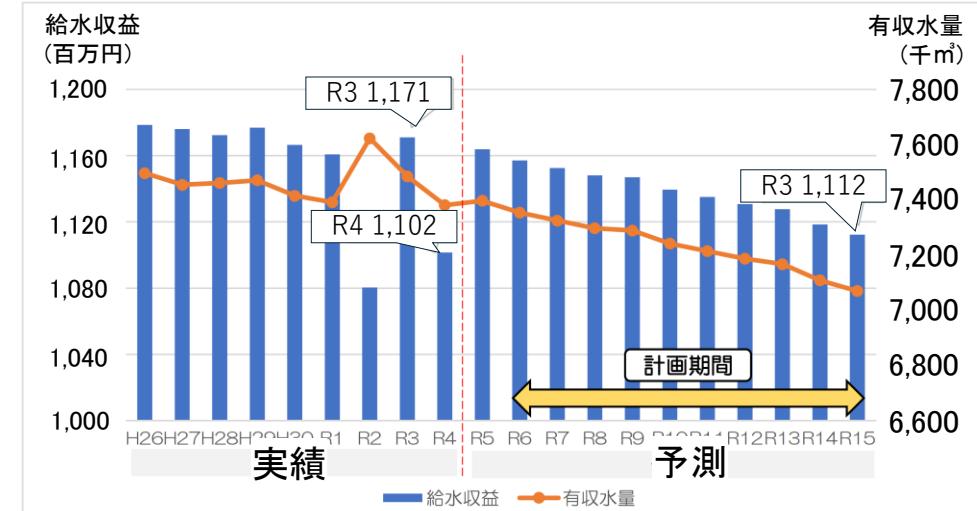
- 上下水道両方のさらなる**効率化**

下水道使用料収入



交野市下水道事業経営戦略 令和3年3月

給水収益及び有収水量



交野市水道事業経営戦略 令和6年3月

交野市下水道事業の現状と課題(雨天時浸入水)

現状（困ったこと）

- 宅内誤接続調査等、様々な対策を講じているが、まだまだ**道半ば**
- 改めて、**現状の評価・今後の対策検討**が必要な段階となっている。



課題（なすべきこと）

- 国費を活用した流量調査等、雨天時浸入水対策計画の策定
- 浸入水発生箇所の**的確・効率的な絞り込み**

本日の説明内容

1

ウォーターPPPの概要

2

交野市の現状と課題

3

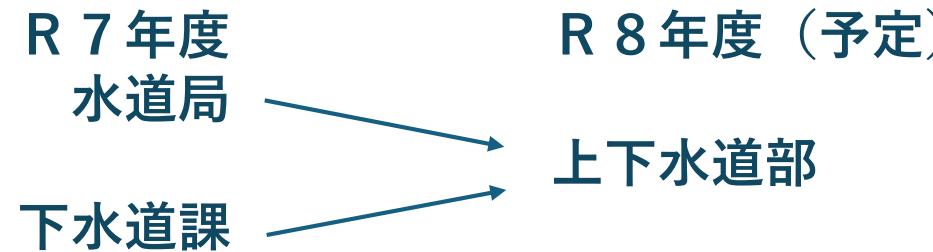
交野市のウォーターPPPの方向性

4

アンケート調査への協力のお願い

本市の考え方

①上下一体でのウォーターPPPの導入を検討しています

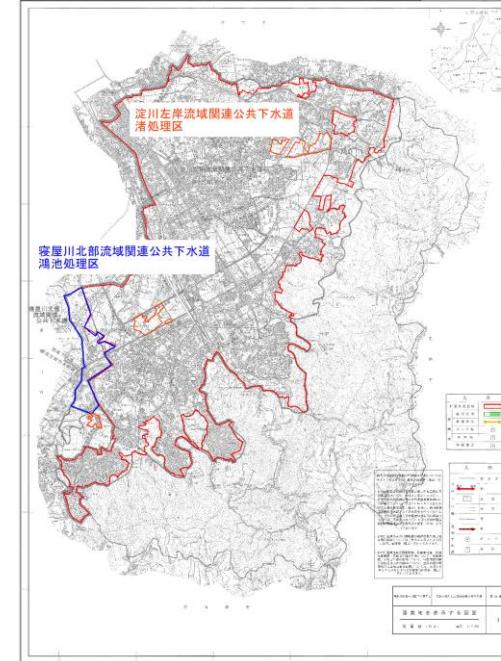
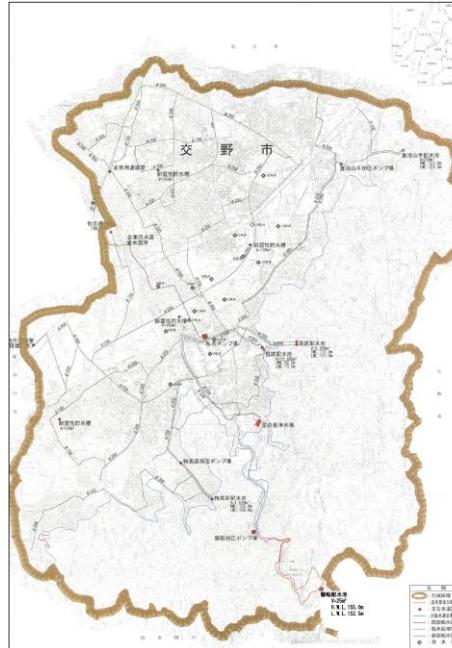


- ・水道事業と下水道事業の統合による体制強化を図るため、
令和7年4月1日に上下水道統合準備室を設置、近い将来統合予定
- ・上下一体のウォーターPPPによるさらなる効率化を目指す

対象区域の考え方

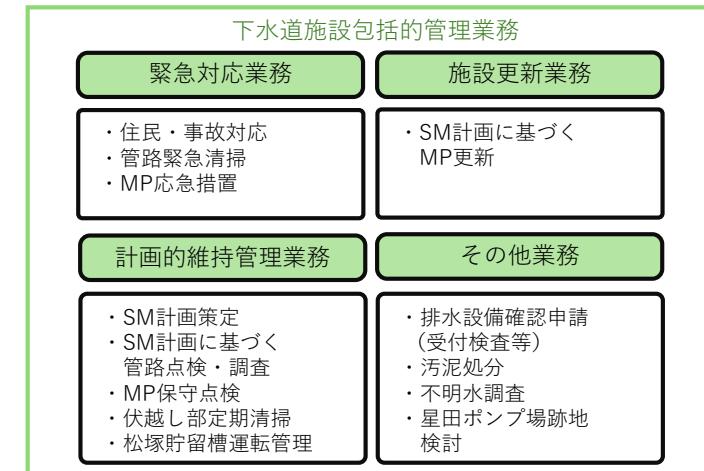
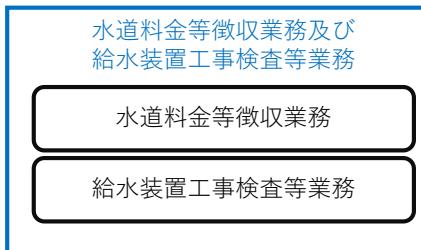
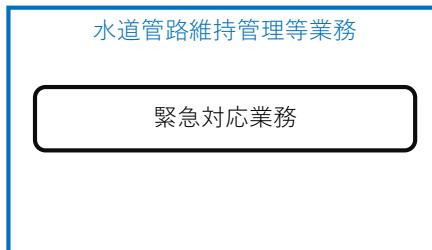
本市の考え方

③対象区域については、上下水道の使用区域全域を想定しています



本市の考え方

④下水管路、水道管路、宿日直等の現委託を、ウォーターPPPに包括化できるものはしたいと考えています



具体的な業務の仕分け（下水道）

本市の考え方⑤想定する業務範囲

対象施設	導入レベル 業務分類	業務内容	現包括 委託	更新 支援型
全体	統括管理	統括管理業務	○	○
	窓口業務	台帳確認(システム確認、図面出力、接続箇所確認等)	—	△
		排水設備確認申請受付(問合せ対応、内容確認含む)	○	△
		排水設備工事完了検査	○	△
管路	レベル3.5	更新(改築)工事 実施設計含む	—	—
		コンストラクションマネジメント(積算発注支援、工事監理)	—	—
		更新計画案作成	○	○
	レベル3	修繕計画案作成	—	○
		一定金額以上の修繕	—	△
	レベル2.5	一定金額以下の修繕	—	△
	管路包括	計画的業務	巡回・点検・調査	○
			清掃	○
			修繕	—
		管理保全業務	事故対応(緊急清掃、軽微な修繕等)	○
			住民対応	○
			他工事立会	—
		問題解決業務	雨天時浸入水	※
			悪臭	— (住民対応に含む)
		災害対応業務	被害状況把握	○
			二次災害防止	○

※第1期、第2期で宅内誤接調査を実施。第3期は実施なし。

△ の部分を
ウォーターPPP
に含めるべきか
検討したいと考
えています

○ : ウォーターPPP
に含める
△ : ウォーターPPP
に含める可能性があ
る

具体的な業務の仕分け（下水道）

本市の考え方⑤想定する業務範囲

対象施設	導入レベル 業務分類	業務内容	現包括 委託	更新 支援型
マンホールポンプ	レベル3.5	更新（改築）工事 実施設計含む	—	—
		コンストラクションマネジメント（積算発注支援、工事監理）	—	—
		更新計画案作成	—	○
	レベル3	修繕計画案作成	—	○
		一定金額以上の修繕	—	△
	レベル2.5	一定金額以下の修繕	—	△
	レベル2	ユーティリティの調達・管理	—	△
	レベル1	汚泥処分	○	○
		保守点検及び応急処置	○	○
	その他	災害対 被害状況把握 応業務 二次災害防止	○	○
その他		施設管理（旧PS除草清掃、水路浚渫） 松塚貯留槽運転管理	○	○

△ の部分を
ウォーターPPP
に含めるべきか
検討したいと考
えています

○ : ウォーターPPP
に含める
△ : ウォーターPPP
に含める可能性があ
る

具体的な業務の仕分け（上水道）

本市の考え方⑤想定する業務範囲

対象施設	導入レベル 業務分類	業務内容	現委託	更新 支援型
全体	統括管理	統括管理業務	○	○
	窓口業務	水道料金等徴収業務	○	△
		窓口・受付（申請受付、埋設管調査等の対応）	○	△
		給水装置工事申込書受付	○	△
		給水装置工事検査等業務	○	△
上水道 管路	レベル3.5	更新（改築）工事 実施設計含む	—	—
		コンストラクションマネジメント	—	—
		更新計画案作成	—	—
	レベル3	修繕計画案作成	—	△
		一定金額以上の修繕	—	△
	レベル2.5	一定金額以下の修繕	—	△
	管路等管理業務 一点検業務	弁類保守点検業務	—	△
		弁室・弁きょう等点検清掃業務	—	△
		水管橋点検業務	—	△
		管路パトロール業務	—	△
		他企業工事立会業務	—	—
		仕切弁操作業務（系統変更作業、計画排水作業）	—	—
		漏水調査業務	—	△
	住民対応業務	事故対応（漏水対応等）	○	○
		住民対応	○	○
共通	その他	災害対応業務	○	○
		被害状況把握	○	○
		二次災害防止	○	○
		応急給水	—	△
その他		施設管理（局日直）	○	○

△ の部分を
ウォーターPPP
に含めるべきか
検討したいと考
えています

○ : ウォーターPPPに
含める
△ : ウォーターPPPに
含める可能性がある

本市の考え方

⑥修繕業務をウォーターPPPに含めることを想定しています

ウォーターPPP内で実施

緊急対応業務

+

修繕業務

- ・現状：
「下水道施設包括的管理業務」「水道管路維持管理等業務」
いずれも修繕は含まれていない

雨天時浸入水対策についての考え方

本市の考え方

⑦雨天時浸入水対策については、提案があればぜひ検討したいと考えています

施設区分	技術的な課題	区分
下水道管	不明水対策	流量測定
		不明水が多い区域を予測

1

ウォーターPPPの概要

2

交野市の現状と課題

3

交野市のウォーターPPPの方向性

4

アンケート調査への協力のお願い

アンケート調査の目的

- 導入検討における参考情報として以下の事項を把握
 - ・民間企業から見た望ましい事業方式、対象施設、対象業務
 - ・民間企業から見たウォーターPPP導入のための課題
 - ・ウォーターPPPで定められた4要件に対する課題
 - ・今後の導入検討を進めるまでの課題
- アンケート調査の回答を参考として、本市のウォーターPPPを官・民双方にとってより良いものにしていきます。

アンケート項目

1. 御社のPPP/PFI事業への参入実績について
2. 御社の本事業への関心について
3. 希望する業務、対応方法及び実績について
4. 希望する対象施設について
5. 希望する体制及び方式について
6. ウォーターピンケージの4要件他に関する意見、要望、課題等
7. 今後の検討の進め方に関する要望・ご意見等

アンケートへの回答にあたっては、
別冊の事業概要資料の確認をお願いいたします。

アンケート提出期限等

- 令和7年11月19日（水）までに、記入したエクセルファイルをそのままの形式でメールで提出をお願いいたします。
- 送信先（委託先）： 株式会社NJS
ウォーターPPPアンケート担当 北島、牧野 あて
hiroshi_kitajima@njs.co.jp
tomonori_makino@njs.co.jp (両名に送付ください)
- 件名を「ウォーターPPPアンケート回答（●●社）」としてください。

アンケートに係る留意事項

- ・ 本調査は、今後の交野市におけるウォーターPPPの導入を含め、いかなる発注、計画の策定等が行われることに対し、保証されるものではありません。
- ・ この調査への参加実績や回答内容が、今後の事業者公募等の参加条件及び評価の対象となることはありません。
- ・ この調査での記載内容は、何ら法的拘束力を持つものではありません。あくまで記入時点での意見として承ります。
- ・ 回答内容については個人または法人が特定されない形で公表する場合があります。ただしその場合でも、提案にかかる部分、競争性に関係する部分等、今後の検討や事業化に影響がある部分は非公開とします。
- ・ アンケートご回答後、回答内容について照会させていただくことがあります。その場合にはご協力を願いいたします。
- ・ 本調査の回答にかかる費用等は事業者様のご負担とします。
- ・ 本件調査については、株式会社NJSに業務を委託しており、本アンケートにかかる事務はNJSが実施します

今後検討の流れ

意思決定が最短でなされた場合のスケジュール

令和7年度 導入可能性調査

- 事業範囲、業務範囲、事業方式等の検討
- マーケットサウンディング
- 事業スキームの選定
- 導入効果の検証
- モニタリング体制・方法の検討
- 実施方針の作成

令和8年度 公募

- 入札方法・契約方法の決定
- 事業スケジュールの決定
- 公募資料作成
- 事業者選定委員会の設置
- 公告
- 事業者選定
- 契約締結
- 引継ぎ

令和9年度 事業開始

- ウォーターPPP事業開始

ご清聴ありがとうございました。

本日の説明内容を踏まえ、ご質問をお願いします。
(アンケート調査票の内容に関するものでも構いません。)